

(書式 2)

学会参加報告書

提出日 2018年 7月16日

学籍番号	18PDA05	学系	トレーニング科学
氏名	坂部 崇政		
学会等名 (正式名称)	The 8 th International Congress of Asian-South Pacific Association of Sport Psychology		
開催日程	2018年 6月 29日 ~ 2018年 7月 3日		
開催場所 (国・都市名)	Keimyung University, Daegu, Republic of Korea		
発表演題名	Physiological and psychological effects of athletes during tracking tasks assuming competitive scenes		
参加報告 ・項目別に具体的に記載する。	<p><学会の全体の印象> 本学会は、アジア圏からの参加者がほとんどであり、英語以上に韓国語や中国語が飛び交っているのが印象的であった。また、国際学会としては参加者が少なく、密なコミュニケーションがとれる一方で、自身の研究領域と合致しない場合には活発なディスカッションが期待できないように感じた。</p> <p><自分の研究と関連した発表とその内容> 本学会では、心理指標を中心とした研究が多く、自身の研領域である生理指標から競技者の認知機能について検討した研究は見当たらなかった。</p> <p><自身の発表への質問・コメント> 本学会では、競争場面を想定したトラッキング課題中における競技者の生理心理的効果について発表した。参加者からはトラッキング課題そのものへの質問が来ることを想定し、事前にタブレットで課題を提示できるよう準備していたため、課題についてはよく理解してもらえた。私自身、国際学会での発表経験はまだまだ浅く、言葉の壁に悩まされることが多いが、今回のようにタブレットを活用することで、これまで以上に円滑なディスカッションが可能になると感じた。</p>		

※ 補助金を受けた学生はこの学会参加報告書を提出すること。

提出期限は学会終了後2週間以内とする。

本報告書は学会参加報告書として日本体育大学総合スポーツ科学研究センターホームページ内に掲載されます。